ハイビジョンハードディスクムービー

型名 GZ-HD6/GZ-HD5

パソコン操作ガイド

Windowsをお使いの場合

Macintoshをお使いの場合

■ビデオディスクを再生するとき

操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
➡ブルーレイディスク：市販のブルーレイプレーヤーなど
➡DVDビデオディスク：市販のDVDプレーヤーなど
➡DVDライターでつくったDVD：別売のDVDライター（CU-VD40）

準備

付属ソフトをインストールしてください。

■Windowsをお使いの場合

➡取扱説明書の「パソコンにインストールする」（P.82）をご覧ください。
➡ビデオディスクをつくる場合は、記録型DVDドライブまたは記録型ブルーレイドライブをご用意ください

■Macintoshをお使いの場合

➡取扱説明書の「インストールする（Mac）」（P.90）をご覧ください。

重要！

- **撮影時は「x.v.Color」を「切」にしてください。**
  付属ソフトはx.v.Colorに対応していません。パソコンで編集する動画は、エブリオのビデオメニューの「x.v.Color」を「切」にして撮影してください
- **エブリオをパソコンに接続するときは、USBケーブルを使います。**
  i.LINKケーブルで接続した場合、付属ソフトでファイル（動画や静止画）を読み込めません。

Windows
1-1 ビデオディスクをつくろう

エブリオで撮った動画ファイルを使って、ビデオディスクをつくりましょう。

エブリオの動画ファイルを、パソコンにあらかじめ保存(バックアップ)しておきます。操作については、取扱説明書の「新しいファイルを保存する」(P.85)をご覧ください。

1

PowerCinema NE for Everio

PowerCinemaアイコンをダブルクリックする

PowerCinemaが立ち上がる。

2

「コピー/編集」を押す

●操作がわからないときは「かんたんガイド」を押す

3

「バックアップフォルダ」を押す

4

ディスクに記録するファイルに「✓」をつける

「コピー/編集」を押す

5

「ディスク作成」を押す

PowerProducerが立ち上がる。(➡次ページに続く)

お知らせ ●「かんたんガイド」を見るには、インターネットに接続できるパソコンが必要です。

ビデオディスクをつくろう(つづき)

(以下は、P.2の手順⑤の続きです)

6

ブルーレイディスクをつくるときは
「Blu-ray Disc」を押す

●PowerProducerの操作や機能がわからないときは、これらを押す

➡ を押す

お知らせ

●DVDビデオ(標準画質)をつくるときは、「DVD」を押します。ただし、ハイビジョン画質から標準画質に変換するため画質が低下し、変換に時間がかかります。

7 **次の画面が表示されたら、PowerCinemaを終了する**

8

タイトル(登録されたファイル)

➡ を押す

9

を押す

ディスクの作成が開始される。

10 ディスクの作成が終了したら
PowerProducerを終了する

お知らせ

●市販のプレーヤーやレコーダーによっては、パソコンで作成したディスクを正常に再生できないことがあります。
●お使いのパソコンによっては、書き込む映像の10倍以上の時間がかかる場合があります。
●お使いのパソコンによっては、記録済みディスクの消去に失敗する場合があります。このような場合は、PowerProducerの「ディスクユーティリティ」の「ディスクの消去」でディスクを消去してからお使いください。
●お使いのドライブの製造元が推奨するディスクを使用してください。

Windows
2-1 編集してビデオディスクをつくろう

エブリオで撮った動画ファイルをパソコンで編集し、ビデオディスクをつくりましょう。

エブリオの動画ファイルを、パソコンにあらかじめ保存（バックアップ）しておきます。操作については、取扱説明書の「新しいファイルを保存する」（P.85）をご覧ください。

1

PowerCinema NE for Everio

PowerCinemaアイコンをダブルクリックする

PowerCinemaが立ち上がる。

2

「コピー/編集」を押す

●操作がわからないときは「かんたんガイド」を押す

3

「バックアップフォルダ」を押す

4

編集するファイルに「✓」をつける

「コピー/編集」を押す

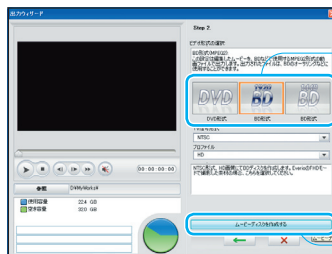
5

「アドバンス編集」を押す

PowerDirectorが立ち上がる。（➡次ページに続く）

お知らせ ●「かんたんガイド」を見るには、インターネットに接続できるパソコンが必要です。

Windows 2-2

編集してビデオディスクをつくろう（つづき）

（以下は、P.4の手順⑤の続きです）

6 PowerDirectorに選択した画像が取り込まれたら、PowerCinemaを終了する

●PowerDirectorの操作がわからないときは、「ヘルプ」を押す。

「編集」メニューの「縦横比」を選ぶ

「16:9」を押す

サムネイルをドラッグし、🔓🎞 の行に置く

●多彩な機能を使って編集するとき
➡（P.7）

「出力」を押す

9

「ディスク形式出力」を押す

→ を押す

10

ブルーレイディスクをつくるときは

動画の画質に合わせる

●画質 FHD の動画のみを使うとき
➡「1920 BD」を押す

●画質 SP LP 1440CBR の動画を使うとき
➡「1440 BD」を押す

「ムービーディスクを作成する」を押す

PowerProducerが立ち上がる。（➡次ページに続く）

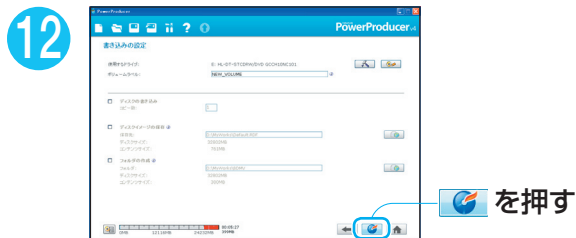
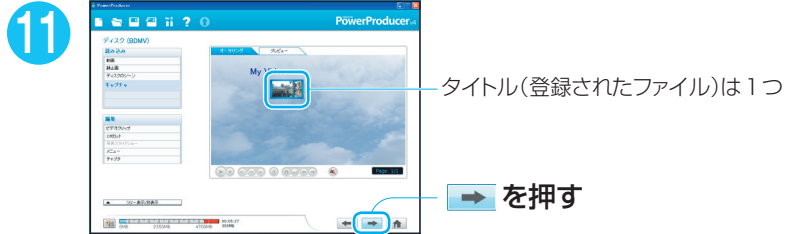
お知らせ

●DVDビデオ（標準画質）をつくるときは、「DVD」を押します。ただし、ハイビジョン画質から標準画質に変換するため画質が低下し、変換に時間がかかります。

編集してビデオディスクをつくろう
（つづき）

（以下は、P.5の手順⑩の続きです）

11

12

ディスクの作成が開始される。

13 ディスクの作成が終了したら
PowerProducerを終了する

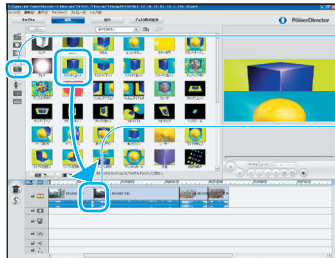
■手順⑪に２つ以上のタイトルを登録するとき

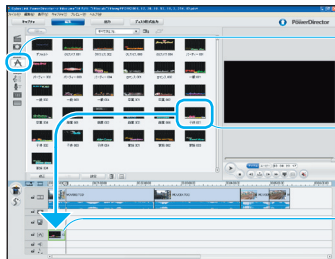
(1) 手順⑨で「ファイル形式出力（GZ-HDシリーズ）」を押し、タイトルを動画ファイル（拡張子.TPD）として保存する。
（操作については、「編集してテレビで見よう」（P.9）の手順⑨～⑪をご覧ください。）
(2) 同じ操作を繰り返し、タイトルを保存する。
(3) 手順⑪の画面で「読み込み」の「動画」を押し、(1)で保存したタイトルのファイルを読み込む。
(4) 手順⑫へ進む。

編集してビデオディスクをつくろう（つづき）

PowerDirectorを使うと、多彩な機能を使って本格的に編集できます。
少しの編集でも、ビデオの印象は大きく変わります。

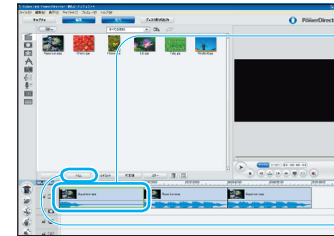
トランジション（場面切替）を入れる

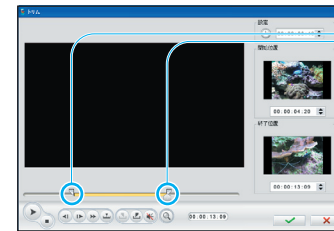
シーンのつなぎ目を効果的に演出できます。

1. を押す
2. トランジションをドラッグし、の行のシーンの間に入れる

画面に文字を入れる

1. を押す
2. タイトルをドラッグし、の行に置く
3. ダブルクリックする

4. 文字をダブルクリックし、書き替える
   - ●文字の色・大きさ・動きなどを設定できます
5. を押す

トリミングする

シーン（クリップ）の最初や最後に余分な映像があるとき、それらを削ることができます。

1. の行のビデオを選ぶ

2. 「トリム」を押す

3. クリップの始まりや終わりを、ドラッグして調節する
   - ●数値で設定することもできます

その他の機能

これらのほかにも、PowerDirectorにはさまざまな機能があります。
操作については、PowerDirectorのヘルプとユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

■映像に効果をつけるとき ➡エフェクト

■おもしろい画像を映像のなかで動かすとき ➡PiP

■BGMに音声ファイルを使うとき ➡BGM

お知らせ　●編集中は、「ファイル」メニューの「保存」でこまめに保存してください。

編集してテレビで見よう

パソコンで編集した動画をテレビで見るには、エブリオやDVDライター（別売）を使います。

エブリオの動画ファイルを、パソコンにあらかじめ保存（バックアップ）しておきます。操作については、取扱説明書の「新しいファイルを保存する」（P.85）をご覧ください。

1 PowerCinemaアイコンをダブルクリックする

PowerCinema NE for Everio

PowerCinemaが立ち上がる。

2

「コピー/編集」を押す

●操作がわからないときは「かんたんガイド」を押す

3 「バックアップフォルダ」を押す

4

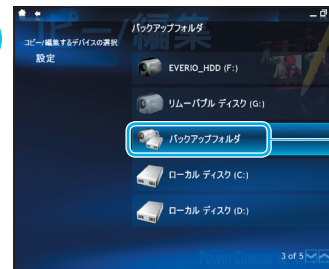
編集するファイルに「✓」をつける

「コピー/編集」を押す

5

「アドバンス編集」を押す

PowerDirectorが立ち上がる。（➡次ページに続く）

お知らせ ●「かんたんガイド」を見るには、インターネットに接続できるパソコンが必要です。

編集してテレビで見よう(つづき)

(以下は、P.8の手順⑤の続きです)

6 PowerDirectorに選択した画像が取り込まれたら、PowerCinemaを終了する

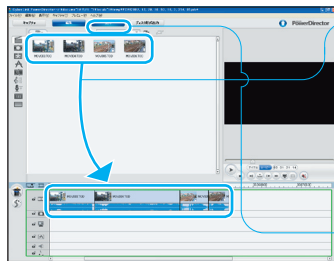
7

●PowerDirectorの操作がわからないときは、「ヘルプ」を押す。

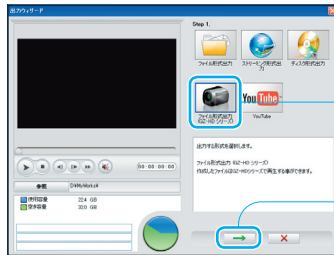
「編集」メニューの「縦横比」を選ぶ

「16:9」を押す

8

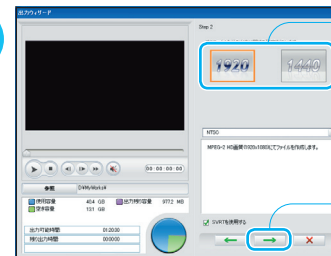
サムネイルをドラッグし、の行に置く

●多彩な機能を使って編集するとき
➡(P.7)

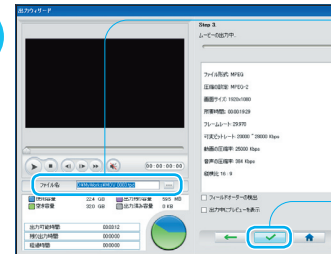
「出力」を押す

9 「ファイル形式出力(GZ-HDシリーズ)」を押す

→ を押す

10 動画の画質に合わせる

●画質 FHD の動画のみを使うとき
➡「1920」を押す

●画質 SP LP 1440 の動画を使うとき
➡「1440」を押す

→ を押す

11 ファイルの保存先とファイル名を確認する

✓ を押す

書き戻しファイル(拡張子.TPD)が保存される。(➡次ページに続く)

お知らせ

●PowerDirectorのプレビュー表示は、お使いのパソコンの能力や状態によって滑らかに再生できないことがあります。

●プレビュー表示は編集時の確認用です。画質は実際の映像より低下します。

●PowerDirectorのヘルプの記述および画面の表記は、パッケージ版と同一です。そのため、エブリオ付属版では動作しない機能が記載されています。

●書き戻しファイル(拡張子.TPD)はCyberLink BD Solutionの各ソフトで使用できます。

Windows 3-3

編集してテレビで見よう(つづき)

エブリオで再生する

書き戻しファイル(拡張子.TPD)をエブリオに戻すと、エブリオで再生できます。エブリオをテレビに接続して見ることができます。

1 エブリオをパソコンに接続する

2 エブリオのHDDの「EXTMOV」フォルダに、書き戻しファイル(拡張子.TPD)を入れる

●取扱説明書の「フォルダとファイルの一覧」をご覧ください

■エブリオに戻せないとき／エブリオで再生できないとき

- ●ファイルサイズが4GB以上のときは、4GB以下になるよう動画の時間を短くする。
- ●エブリオのHDDの「EXTMOV」フォルダに、ファイルが入っていることを確認する。
- ●ファイル名を「MOV_xxxx.tpd」の書式から変更しない。(変更が必要なときは、4桁の数字(xxxx部分)を別の4桁の数字に変更します。)
- ●P.9の手順⑨で「ファイル形式出力(GZ-HDシリーズ)」を選び、手順⑩で動画の画質に合わせたことを確認する。

DVDライター(別売)で再生する

DVDライターをパソコンに接続すると、書き戻しファイル(拡張子.TPD)をディスクに記録できます。
DVDライター(CU-VD40)をお使いの場合のみ、DVDライターをテレビに接続すると、記録したディスク内のファイルをテレビで見ることができます。(エブリオを接続する必要はありません。)

1 DVDライターをパソコンに接続する

●DVDライターの取扱説明書をご覧ください

2 DVDライターの付属ソフト「Power2Go 5.5Lite」で、書き戻しファイル(拡張子.TPD)をディスクに記録する

3 DVDライター(CU-VD40)をテレビに接続し、ディスクを再生する

●DVDライターの取扱説明書をご覧ください

■DVDに記録できないとき／DVDライターで再生できないとき

- ●ファイルサイズが4GB以上のときは、4GB以下になるよう動画の時間を短くする。
- ●P.9の手順⑨で「ファイル形式出力(GZ-HDシリーズ)」を選び、手順⑩で動画の画質に合わせたことを確認する。
- ●DVDライター(CU-VD3)はテレビに接続できません。CU-VD3をお使いの場合、エブリオに接続して再生してください。この際、エブリオをテレビに接続すると、テレビで見ることができます。

付属ソフトのよくあるご質問

困ったときは、まずこちらをご覧ください。それでも解決しないときは、それぞれのソフトの「ユーザーズガイド」(PDF)をご覧ください。

PowerCinema NE For Everio

Q 動画ファイル(拡張子.TPD)を再生する際、映像がコマ落ちしたり音切れします。

A サムネイルが表示されていないときは、サムネイルの作成中です。サムネイルの作成中に再生をすると、映像がコマ落ちすることがあります。
お使いのパソコンがPowerCinemaの動作環境を満たしているか、『取扱説明書』でご確認ください。

Q エブリオに保存した動画ファイル(拡張子.TPD)をPowerCinemaで再生できません。

A エブリオの「EXTMOV」フォルダにあるファイルを、PowerCinemaは再生できません。エブリオのファンクションメニューの「TPDファイル再生」で再生するか、パソコンのHDDに動画ファイルをコピーしてからPowerCinemaで再生します。

PowerDirector 6 NE

Q 編集後の動画ファイル(拡張子.TPD)を再生する際、映像がコマ落ちしたり音切れします。

A このようなときは、「編集してテレビで見よう」(P.9)の手順⑩の画面で「SVRTを使用する」のチェックをはずして、ファイル(拡張子.TPD)を作成してください。
(コマ落ちや音切れがない場合は、「SVRTを使用する」をチェックしておきます。)

Q 作成したDVDビデオやブルーレイディスクで、編集した(効果をつけた)部分の画像や音声に異常があります。

A 「編集してビデオディスクをつくろう」(P.5)の手順⑨で「ディスク形式出力」を選んで作成した場合、このような症状が起こることがあります。
「ファイル形式出力(GZ-HDシリーズ)」を選んで、ファイル(拡張子.TPD)を作成してください。操作については、「編集してテレビで見よう」(P.9)の手順⑨～⑪をご覧ください。
続いて、「編集してビデオディスクをつくろう」(P.6)の手順⑪で「読み込み」の「動画」を押し、上記で作成したファイルを読み込みます。

PowerProducer 4 NE

Q ブルーレイディスクに、タイトル数とチャプター数をいくつまで設定できますか。

A タイトルは1枚のディスクあたり98個まで、チャプターは1つのタイトルあたり99個まで設定できます。

Q 記録時間の短い動画ファイルをインポートできません。

A 2秒未満のファイルはインポートできません。

Q 100個以上など多数の動画ファイルをインポートできません。

A DVDビデオ、ブルーレイディスクともに、98個を超える動画ファイルはインポートできません。

A インポートする動画ファイルの数量が多い場合、エラーが表示されることがあります。一度にインポートするファイル数を50個以下にしてください。

A ディスクのメインメニューにすべてのファイルをタイトルとして並べる必要がない場合、PowerDirectorで動画ファイルを連結してファイル数(タイトル数)を減らすことができます。

Q サムネイルが表示されません。

A タイトル数が多い場合、お客様のパソコンの環境によって、このような症状になります。そのままディスクを作成しても、作成したディスクに影響しません。

Macintosh 1

iMovieでハイビジョン編集をしよう

エブリオで撮った動画ファイルを、アップル社のiMovie HD 6を使ってハイビジョンのまま編集しましょう。

❶ エブリオからパソコンに、動画ファイル(拡張子.TOD)をコピーする

●操作がわからないとき
➡取扱説明書の「このようなことができます(Mac)」(P.88)をご覧ください

❷

iMovie HDアイコンをダブルクリックする

iMovie HDが立ち上がる。

❸ 「新規プロジェクトを作成」を押す

iMovie HD
新規プロジェクトを作成
既存のプロジェクトを開く
Magic iMovie を作成
終了

❹

名前をつける

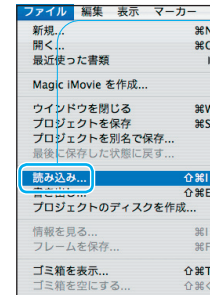
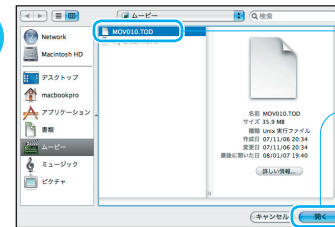
「HDV 1080i」を選ぶ

●メニューがないとき
➡「▶」を押す

「作成」を押す

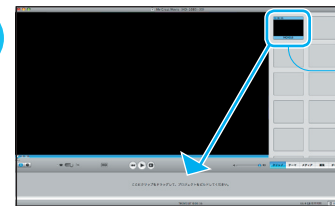
❺

「ファイル」メニューの「読み込み」を選ぶ

❻

動画ファイル(拡張子.TOD)を選ぶ

「開く」を押す

動画ファイルの読み込みが開始される。

❼

(読み込んだ動画ファイルを使って)編集する

お知らせ
●iMovie HDの仕様により、画質 FHD の動画ファイルを読み込むと、解像度が「1920×1080i」から「1440×1080i」に変換されます。
●iMovie HDの使いかたについて詳しくは、「ヘルプ」メニューの「iMovie HDのヘルプ」をご覧ください。

Macintosh

2 iMovieのよくあるご質問

困ったときは、まずこちらをご覧ください。それでも解決しないときは、iMovie HDの「ヘルプ」メニューの「iMove HDのヘルプ」をご覧ください。

Q 動画ファイル（拡張子.TOD）をiMovieに読み込めません。

A iMovieのバージョンをご確認ください。
iMovie HD 6をお使いの場合に、動画ファイルを（拡張子.TOD）をハイビジョンのまま編集できます。
iMovie '08をお使いの場合は、アップル社のホームページからiMovie HD 6を無償でダウンロードしてご利用いただけます。
http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/imovieHD6.html

Q iMovie HDに読み込むには、HDDにどの程度の空き容量が必要ですか。

A 読み込む動画ファイル（拡張子.TOD）の容量の、およそ8～10倍の空き容量（最大40GB）が必要です。

Q iMovie HDに読み込むには、どの程度の時間が必要ですか。

A ご使用の機種によって異なりますが、読み込む動画ファイル（拡張子.TOD）の記録時間のおよそ**4～10倍程度**かかる場合があります。

Q iMovie HDの動作が不安定になることがあります。

A 最新のシステム環境でご使用になることをお勧めします。QuickTime PlayerやiMovie HD 6の最新のバージョンをお使いください。

Q 解像度「1920×1080i」のまま編集できません。

A iMovie HD 6の仕様です。iMovie HD 6は、解像度「1440×1080i」までの動画を扱うことができます。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M8H7 0108FOH-HT-VP